理学部附属植物園について

水　野　昌　平　（植　物　園）

理学部附属植物園に勤務するようになって3年有半，この3月を以って定年を迎えるに当りまして，植物園について皆様のご理解を一層深めていただければとの願いを込めて一言申し述べたいと思います。

植物園は名称のとおり，東京大学理学部の附属植物園で，植物学の教育・研究に加え，野生植物の系統保存，遺伝子資源保存などを行っている研究植物園である。一般には「小石川植物園」，分園は「日光分園」と呼ばれており，公開展示を主目的とする植物園と感違いをしている人が来園する一般市民のほとんどであり，東大職員の中にも公園的設備と思っている人が少なからずいる（かっては私もその一人であった）。ご承知のように一般に公開されているが，その目的は折角収集されている多様な植物に接し，親しんでもらうことによって植物，ひいては自然に関心を持っていただくことにある。

植物園とは，一般に人為的に造られた園芸植物が一ぱい植っていて美しい花が咲いており，雑草などはなく，順路は掃き清められ，各々の植物にはラベルが付いていて簡単な説明までしてある。温室はアルミの柱が目に鮮やかで硝子はよく磨かれており，池の護岸，柵，ベンチなども手入れが行きとどいていると思っている人が多い。そういった人々は，我が植物園に入園して認識と現実との違いに驚くことになる。公開している以上，それなりに整備が必要なことはいうまでもないが，この植物園は教育・研究用や遺伝子資源として系統保存する植物が主体であるため，見た目に美しい花や草木は少ない。また，不本意乍ら本園・分園共に，植物ラベルはまばらであり，池の護岸は所々くずれており，温室の一部と日光分園の便所（未だに貯便式）の一部は老朽のため修理不能であり，柵も所々倒れており，ベンチも古ぼけて見苦しい。およそ手入れが行きとどいているとはいえない。

これらの主な原因は，理学部，庶務部・経理部の関係の方々のご援助・ご努力にもかかわらず，⑴予算が不十分であること。⑵植物の育成・管理を行う職員数が従来の約半数に減っているため，本園の主目的である教育・研究費用などの植物育成・管理で手一ぱいであり，公開部分の手入れが滞っていること。⑶入園者のごく一部の人（ちん入者と思われる）のイタズラがあとを絶たないことである。

植物園としても最近では，職員全員が月に1回，園内一斉清掃を行うなど公開部分の美化などの点でも，鋭意奮斗しており，職員一人ひとりが自分の住居の美化を心がけるような自覚を一層深めて，さらに努力を重ねているが，植物園も良くなったと皆様からお誉めをいただけるようになるのは，何年後のことであろうか。

どうか皆様のご理解とご声援をお願い申しあげます。

私は，昭和25年，経理部にまいり，その後，施設部，経理部，工学部附属原子力工学研究施設，物性研究所，そうして植物園と，38年の永い間お世話になりました。

わがままな私が無事，定年を迎えることができますのは，経理部以来の，ならびに理学部，植物園の諸先生，先輩，同僚の方々のご指導・ご支援をいただいたお蔭です。

この紙面をお借りして厚くお礼を申しあげます。最期に，皆様のご健勝と一層のご発展をお祈り申しあげます。